

～7月1日スタート！～

吉田兼好の歌にも詠まれた「いたち川」を未来へ！ クラウドファンディング型ふるさと納税を実施します

いたち川は、鎌倉時代に呼ばれていた出立川（いでたちがわ）の呼び名が訛り、現在に至ったと言われており、徒然草の作者である吉田兼好も一首を詠むほど昔から人々の生活に親しまれる川でした。しかし、近年、樹木の老朽化や病害等により倒木や落枝が増加し、歩行者の安全確保のため、伐採を余儀なくされています。

このたび、栄区では、区民の皆様にも長く愛され、親しまれてきた「いたち川」の豊かなみどりとさくら並木の景観を未来につないでいくため、クラウドファンディング型ふるさと納税を実施します。横浜市の予算に加え、いただいたご寄附を活用させていただき、樹木の台帳整備や剪定・伐採、桜の植替え等、みどりの保全・さくら並木の再生を進めていきます。なお、さくら並木の再生について、横浜みどり税も活用してまいります。

【プロジェクト概要】

名称	吉田兼好の歌にも詠まれた「いたち川」を未来へ ～栄区いたち川のみどりの保全・さくら並木の再生～
募集ページ	ふるさとチョイス ガバメントクラウドファンディング® https://www.furusato-tax.jp/gcf/3977 
実施期間	令和7年7月1日（火）10時00分から9月30日（火）23時59分まで
目標金額	300万円
返礼品のご紹介	栄区オリジナルのマイボトルやトートバッグに加え、横浜市ならではのグルメや、観光時に嬉しい旅行クーポン等をご用意しています。※市内在住者除く
寄附者の皆様へ	市内・市外を問わずいたち川マスコットキャラクター「タッチーくん」のお礼のカードが届きます。※そのほか、特典もあります（詳細は裏面）



目指す未来の「いたち川」

【裏面あり】



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



【ご寄附いただいた方への特典】

10万円以上ご寄附された方…いたち川沿いに新たに設置する銘板に氏名の記載

1万円以上ご寄附された方…栄区役所HPに氏名の記載

※この特典は、在住地を問わず、ご希望の方はお名前を記載することができます。

※銘板や栄区役所HPへの記載については注意事項がございますので、詳細はふるさとチョイスのページをご覧ください。

クラウドファンディング型ふるさと納税とは

ふるさと納税制度を活用して行うクラウドファンディングで、地方自治体が課題解決を目指して実施する特定のプロジェクトに対し、寄附を募る仕組みです。市内にお住まいの方、市外にお住まいの方のいずれも寄附を行うことができ、ふるさと納税同様の税控除を受けることができます。

※このプロジェクトへの寄附はふるさと納税制度の対象となり、市外にお住まいの方には返礼品をお送りできます。

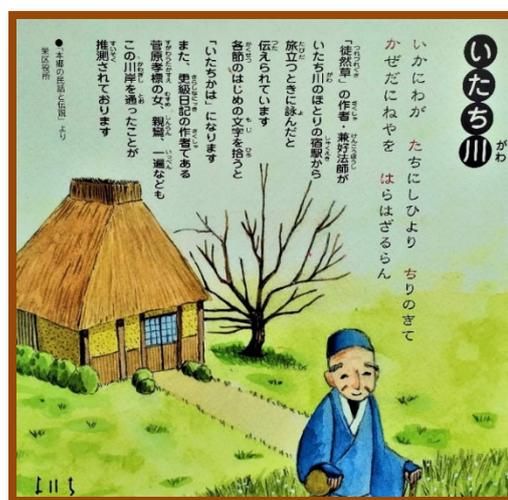
<いたち川の名前の由来>

いたち川の名は、「イデタチ川」から変わったと考えられています。鎌倉時代、鎌倉街道が通るこの地は、幕府にとって交通上、また軍事戦略上の要所であり、宿駅もあったようです。

出で立ち川とは、「いざ出立」と鎌倉街道を下っていく際に、安全を祈る出発の儀式に由来するようです。室町時代の「鎌倉年中行事」にも、関東公方が武蔵方面の征討に出かけるとき、吉例によって「いたち川の宿」で昼食をとり、これからの安全を祈るということが書かれており、鎌倉時代からの慣例として永く続いていたようです。

また、“徒然草”で有名な吉田兼好は「**い**かにわが **た**ちにしひより **ち**りのきて **か**ぜだにねやを **は**らはざるらん」と、「**いたちかわ**」の名を歌に詠み込んでいます。

いたち川で見られる景観



お問合せ先

【プロジェクトに関すること】

栄区栄土木事務所副所長 加藤 稔 Tel 045-895-1411

【クラウドファンディング型ふるさと納税に関すること】

政策経営局財源確保推進課ふるさと納税担当課長 西海 友希代 Tel 045-671-4808



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

